

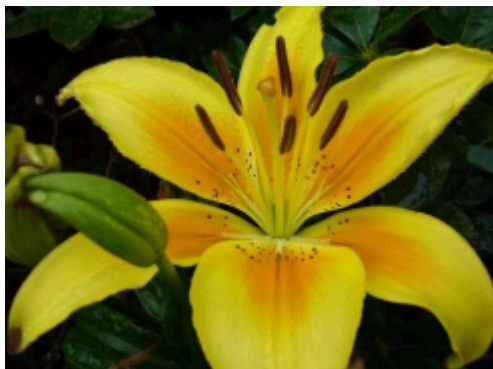
## 語りのまえに

話したい語って聞かせたい素材があれば、実に楽々なものでしょう。でも、素材のない世界はただ真っ白、透明なものかもしれません。そこに点か線でも描き出すようにまずは思い描いたシルエットを載せてみましょう。身近にあって関心のあることを思い描き出し、自分にとってこれが一番うまく語りきれるかなとこゝろのなかで念じてみることです。自分が理解していることより、むしろ、疑問に思ったりしていること、そこに思いの丈、自分を投げ出してみてもいいかでしょう。

きっと、いい雰囲気があるあなたの周囲に漂い始めることでしょう。そう！知らず知らずのうちにももの見事に描けているから不思議です。「繪畫化された世界」には、多様な模様と美しい色彩があふれ出してきています。

これに次の決め手の数字データを書き込めると、いっそう物事がはっきりしてくるでしょう。「あとどのくらい」と聞かれたとき、「あと十一メートルだよ」ときしっと、目測ではかりきれたように...。「あと何分」と尋ねられたとき、あと五分と計測したときのように...。もののはじめとおわりがわかりだしたときのように...。そうした常に前向きな姿勢で立ち向かっている自分自身をここで褒めてあげることにしましょう。実は、人はあなたの心の解き放ちの瞬間を今か今かと待っています。

こんなすてきな時間を共有できる人と人との交流です。波長の整った出会いは、風に波面がさざ立つように、ゆるやかに規則正しく揺れていきます。すかした花のように天からの恵みの雨水を蓄え潤いきって、容量がいっぱいになって溢れそうになってへし折れそうになったら、そっと水をすかす。これが自然の摂理なのです。それはあの「すかし百合」のごとくです。きっと、いい語りがあなたを包んでくれるに違いありません。



この語らいの三つの要素を私自身ことばで紡いでみると、こういう感じになります。そして、最後に貴女のほほえみを大切にしましょう。「貴女のほほえみは口をつむいだほほえみ」か、それとも「白い歯を惜しげもなくさらしたほほえみ」か、それはご自分でお確かめなさりませ。このことを知っておくことで大いなる世界が広がっていくからです。